

# 加茂市



# 議会だより

第192号

平成28年4月30日

編集発行 加茂市議会  
〒959-1392

新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

TEL 0256-52-0080 (代表)

FAX 0256-53-4684 (直通)

ホームページ

<http://www.city.kamo.niigata.jp>

E-mail

[gikaijimu@city.kamo.niigata.jp](mailto:gikaijimu@city.kamo.niigata.jp)



- 〈主な内容〉
- 平成28年度予算決まる……(2)
  - 国保税条例改正など可決……(3)
  - 5人が一般質問に登壇……(4)
  - 議案、請願審議結果……(6)
  - 新たに賛否の状況を掲載……(7)
  - 委員会の審査から……(7)

満開の桜のもと、新年度スタート  
おだやかな日差しの中、桜は満開  
でした。

おのぼり  
(4月9日 大登橋から市役所方面を望む)

# 平成28年度予算決まる

## 予算総額 230億円 一般会計0.9%減

### 定例会日程

3月 8日	本会議・全員協議会
9日	本会議
10日	連合審査会
11日	産業建設常任委員会
14日	産業建設常任委員会
15日	社会厚生常任委員会
16日	社会厚生常任委員会
17日	総務文教常任委員会
18日	総務文教常任委員会
23日	本会議・全員協議会

予算議会ともいわれる三月定例会市議会は、八日に招集され二十三日まで会期十六日間が開かれました。この定例会では、総額二百三十億円となる平成二十八年度一般会計・特別会計予算と水道事業会計予算をはじめ、条例の制定及び改正など市長提出議案三十八件を慎重に審議の結果、すべて承認、原案可決、同意しました。また、議員提出の条例の一部改正二件を原案可決しました。

市長は施政方針演説で、「加茂病院問題と信濃川河川敷の果樹園問題の二つの大問題を加茂市の要望どおりに解決した。平成二十八年度予算は、その成果の上に立って、市民の皆様お一人お一人を最大限にお幸せにする希望あふれる黒字の予算であります。一億二千五百万円の大黒字予算により、貯金の基金は二十八年度当初の七千六百万円から年度末には二億百万円まで増加の見込みであります。病児保育施設の実現、北コミュニティセンターの建設、新町雁木通り商店街の整備などを進め、高い水準の市政を堅持して行きます。」と決意を述べました。

平成二十八年度の一般会計と六特別会計を合わせた予算の総額は、二百三十億一千六十二万円で、前年度より〇・四%の減となりました。

### 一般会計

予算規模は、百三十三億七千百万円で、前年度より〇・九%の減となっています。

歳出の主なものは、民生費が四十一億二百六十九万九千円で、全

体の三〇・七%を占め一番多くなっています。

### 国保特別会計

予算の総額は、三十四億四千九百二十八万八千円で、前年度より一・八%の減となっています。

歳出の主な内容は、保険給付費二十億七千七百八十八千円などです。

### 後期高齢者特別会計

予算の総額は二億七千六百一十千円で、前年度より、四・〇%の減となっています。

歳出の主な内容は、後期高齢者医療広域連合納付金二億六千三百二十六万一千円などです。

### 宅造特別会計

予算の総額は三億四千九百四十二万円で、前年度と同額です。

歳出の主な内容は、用地購入費三億円などです。

### 下水道特別会計

予算の総額は、十九億九千五百一十一万三千円で、前年度より三・五%の増となっています。

歳出の主な内容は、補助事業四億円などです。

### 介護保険特別会計

予算の総額は三十億二千七百五十二万四千円で前年度より、一・五%の増となっています。

歳出の主な内容は、保険給付費二十九億三千二百七十八万七千円などです。

### 在宅介護サービス特別会計

予算の総額は、五億四千六百七十七万四千円で、前年度より、一・八%の減となっています。

歳出の主な内容は、訪問介護事業費二億三千六百三十一万八千円などです。

### 水道事業会計

収益的収支では、八千九百八十一万五千円の当期純利益を見込んでいます。

また、資本的収支では、一億二千三百八十一万三千円の不足額が生じますが、これは、損益勘定

平成28年度 会計別予算額と伸率			
区分	予算額	伸率	
	千円	%	
一般会計	13,371,000	△0.9	
特別会計	国民健康保険	3,449,288	△1.8
	後期高齢者医療	276,101	△4.0
	宅地造成事業	349,420	0.0
	下水道事業	1,990,513	3.5
	介護保険	3,027,524	1.5
	在宅介護サービス事業	546,774	△1.8
合計	23,010,620	△0.4	
水道事業会計	756,268	6.5	

### 議員提出の条例改正

最終日、加茂市議会委員会条例の一部を改正する条例が議員提出され、全会一致で可決しました。これは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員会委員長が廃止され、教育長がその職務を行うこととされたことに伴い、所要の改正をするものです。



# 国民健康保険税条例改正など可決

平成二十八年度の各会計当初予算を除く市長提出議案の主な内容は、次のとおりです。

## 条例制定

**行政不服審査会**  
設置条例は、行政不服審査法の改正により、審査請求があった際に諮問しなければならない市長の附属機関の設置の条例です。

**特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例**は、子ども・子育て支援法の改正により、国で定めていた基準を市の条例で定めるものです。

**放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例**、**家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例**は、いずれも、児童福祉法の改正により、国で定めていた基準を市の条例で定めるものです。

**行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例**は、改正行政不服審査法の施行に伴う関係条例の文言の修正等、所要の改正をするものなどです。

## 条例改正

**国民健康保険税**  
条例の一部改正は、毎年続いている赤字の解消を図るため、やむを得ず国民健康保険税を一人当たり九・八%引き上

げるものです。

**非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例**、**教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例**の各一部改正は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、所要の改正をするものです。

**特別職の職員の給与に関する条例**等、**職員の給与に関する条例**の各一部改正は、人事院勧告に基づき、議員、特別職及び教育長の手当、一般職員の手当及び月例給を改正するものです。

**職員の給与に関する条例**、**人事行政の運営等の状況の公表に関する条例**及び**職員の勤務時間、休暇等に関する条例**の各一部改正は、地方公務員法の改正に伴い所要の改正をするものです。

**奨学資金貸付けに関する条例**は、**修学資金**に困窮している学生に対する増額貸付け分をさらに増額し、**就学機会**の増加を図るための改正です。

## 二十八年度補正予算

**一般**  
会計は、奨学資金貸付金二百五十三万二千円を増額し、財政調整基金積立

金を同額減額するものです。  
**水道事業**会計は、資本的収支の支出で県道白根黒埼線老朽管布設替事業費三千万円を増額し、その財源として企業債三千万円を増額するものです。



全員協議会で追加議案の補足説明を聞く(3月23日)

## 二十七年補正予算

**一般**  
会計は、八号補正で臨時福祉給付金給付事業費一億一千八百三十六万八千円などを増額、九号補正で給与等改定所要額一千九十二万一千円などを増額、十号補正で地方創生加速化事業費八千九百万円を増額するものです。この結果、予

算の総額は百四十億七十一万八千円となります。

**特別会計**では、国民健康保険、後期高齢者医療のいずれも、給与等改定所要額で、それぞれ三十万八千円、四万三千円を増額するものです。下水道事業は、三号補正で年度内に事業が完了しない見込みの公共下水道事業について、繰越明許費を設定するものです。四号補正で給与等改定所要額三十五万五千円を増額するものです。介護保険は、三号補正で保険給付費八千三百九十八万八千円、四号補正で給与等改定所要額三十九万二千円をそれぞれ増額するものです。在宅介護サービス事業、水道事業会計のいずれも、給与等改定所要額で、それぞれ二十一万四千円、三十七万五千円を増額するものです。

## 専決処分

**一般会計**の七号補正で、道路除雪費二千万円を増額し、財政

調整基金積立金を同額減額するものです。

## 殖栗教育長再任に同意

### 人事

定例会最終日の本会議で、三月三十一日に任期満了となる教育委員会教育長に、殖栗敏夫氏(長岡市、63歳)の任命について同意しました。  
また、人権擁護委員候補者に、西村國一氏(千刈二、60歳)を推薦することに同意しました。



国道403号三条北バイパス一部開通式(3月30日)

# 人口減少対策について

YO1998 大平一貴 議員

質問 ① 人口減少対策に、加茂市でも、福島県矢祭町のように、保育料の軽減、第一子からの誕生祝金など予算を付ける事と、岡山県奈義町のように広報を丁寧に行い、多くの子供を産んでも大丈夫との雰囲気をつくれれば、出生数、合計特殊出生率を増やすことができるのではないか。市長の考えはどうか。

② 乳幼児あそびの広場をよく利用している。保護者の間には、土曜日も開けて欲しい、おもちゃも増やして欲しいとの声がある。あそびの広場の予算を増やすべきではないか。

## 市政の内容を聞く

# 一般質問

三月定例会では初日から五人の議員が

一般質問を行い市政

全般についての所見や

執行状況を聞いた

しました。その要点

をお知らせします。



3月定例本会議

答弁 ① 人口減少対策は、国が行うべきである根本的な政策がとられなければ、地方自治体がおもちゃに利用しては、平成二十三年に、国のお金を利用して百万円ほど購入した。広場では、利用者も年齢も考え、常時すべりのおもちゃを出しているわけではないので、少なく見えたのではないかと。予算の増額については、現状、要望や苦情も出ていない中で増額は、今のところ必要はないと考えている。

## 水道管の老朽化に伴う布設替事業について

大志の会 滝沢茂秋 議員

質問 ① 昨年末、須田地区で、合計五回水道管破裂事故が発生した。その対応と修繕費用はどの程度かかったのか。そのため、須田地区区長会から要望書が出たことだが、その回答の内容を尋ねる。新年度の水道会計予算に、老朽管布設替事業として四千五百万円が計上されている。工事概要を尋ねる。

② 市内小中学校の環境整備についてお尋ねする。近年、夏季に三十五度以上の酷暑となり、熱中症の危険もある。学校に、エアコンの設置をとの要望があるが、設置の考えはないか。また、校舎の老朽化に伴い、各

学校からの修繕要望は多い。それに対する考え方はどうか。

答弁 ① 今回の須田地区の破裂事故は、いずれも内径百二十五ミリの石綿管である。破裂の原因としては、水道を使用している昼間と、使用していない夜間の、水圧の変動によるものと思われる。修繕費は五箇所で約二百八十万円である。区長会の要望を受け、新年度予算と追加の補正予算で、総計八百五十三万の布設替えを行う。

② 現在、市内十二の全小中学校にエアコンを設置する経費を試算中である。ざっと二億円かかるのではないかと。できるだけ早く補正予算を出し、二十九年度に間に合わせたい。修繕要望については、現場を確認し、安全面を第一に考えて修繕の必要性を判断し、本場に必要かどうかでも修繕を実施してきている。

## 国民健康保険の運営方針について

大志の会 浅野一明 議員

質問 ① 平成二十八年度当初予算編成方針で、国民健康保険税値上げの意向が示されている。国民健康保険の運営は、年々厳しさを増しているが、国民健康保険の運営方針についてお尋ねする。一つ目は、平均保険税で九・八%の増額とのことだが、具体的なモデルケースで説明願

たい。二つ目は、保険税増額抑制のため、一般会計からの法定外繰り入れという方法もある。その考えはないか。三つ目は、来年度国民健康保険特別会計予算の歳入で、保険税額が、値上げを織り込んでいくのに、なぜ、前年比マイナスになるのか。

答弁 ① 平成二十八年度に保

## 詳しくは会議録で

三月定例会の会議録は、六月上旬に発行予定です。図書館、勤労青少年ホーム、かも川荘、ゆきつばき荘、各コミュニティセンターでごらんください。

なお、行政視察報告についても、会議録と同じ場所でごらんください。

また、視察報告は、市議会ホームページでもごらんになります。

険税を引き上げざるを得なくなった。モデルケースであるが、平均世帯人員が一・七人であるので、二人世帯とし、軽減世帯が多いので、七割軽減を受けているとした場合、値上げにより、年間二千七百円、一人当たり千三百五十円の値上げとなる。これが五割軽減世帯だと、一人当たり四千六百円となる。次に、法定外繰り入れであるが、今回の値上げは、これ以上赤字を増やさないために行ったものである。平成三十年度には、県が国保を所管することになるが、一応その時まで様子を見るのがよいと思っている。次に、来年度予算で、値上げするのに前年度より国保税の予算額が減るのはどういうことかであるが、加入者の減少等が、予算の見込みを上回ったことによるものである。

### 県央医師会応急診療所について

YO1998 安武秀敏 議員

質問 ① 県央医師会 応急診療所は、平成二十一年四月に開設された。施設整備費を分担した三条、燕、田上、弥彦の四市町村長の連名で、加茂市に対し、構成市町村への参加と、応分の負担を求める要請があった。今回で四度目の要請である。今こそ、構成市町村に参加し応分の負担をしてはどうか。(以下、選挙管理委員長への質問)

② 新たに有権者になる若い世代の選挙権行使のための環境整備はどうか。

③ 高齢等で投票所へ行けない人への対応策は。

④ 投票所を増やしてはどうか。また、期日前投票所を複数設置してはどうか。

⑤ 共通投票所を設置してはどうか。

⑥ 若い人を立会人にしてはどうか。

⑦ 投票時間を繰り上げてはどうか。

⑧ 昨年の選挙用費の収支はどうか。

答弁 ① 本来、応急診療所は加茂市民にとって、改築など全く必要のなかったものである。従って、県央医師会と加茂市の間には、改築費を出す契約もない。三条市長が救命救急センターを三条につく

### 認知症対策の取り組みについて

公明党 三沢嘉男 議員

ろうとして改築したものである。加茂市が参加していた場合、約三千万円の負担が予定され、診療所の機材をちゃんとしたものにしようとすれば、さらに莫大な金がかかる。この診療所は、県央の医師会が運営しているもので、もともと市町村はお金を出しておらず、現在も出していない。(②以下については、答弁なし)

質問 ① 今、認知症は社会問題になっている。加茂市においても様々な認知症対策が求められているが、以下をお尋ねする。加茂市はどのように認知症患者を把握しているか、また、現在の患者数はどれくらいか。次に、認知症サポーターを、養成等しているか。認知症は早期発見が大事である。認知症簡易チェックサイトなどを公開してはどうか。また、認知症カフェを開催してはどうか。地域の見守りとして、徘徊者早期発見ステッカーを配布し、徘徊者とすぐ確認できるようにしてはどうか。

答弁 ① 加茂市においては、加茂市介護・看護支援センターが、早期発見に努めているが、現在、いわゆる認知症の方は、千百八

十人いる。認知症サポーターについては、平成二十年度から養成講座を開催している。早期発見については、六十五歳以上の方へパンフレットを配布し、その中に、簡単なセルフチェックができるようになっている。認知症カフェについては、様々なそれにかわるようなものを実施している。見守り体制であるが、徘徊者対策として、行政機関、郵便局、タクシース会社などと協力し、「はいかいシルバースネットワーク」で、早期発見に努めている。徘徊者早期発見ステッカーであるが、安易にステッカーを貼るということは、認知症であることを、他人に周知することでもあり、個人の尊厳を損なうことにもなる。

### 6月定例会 傍聴してみませんか

次回の市議会定例会は、六月二十一日から開催の予定です。市議会の傍聴は、皆さんが選んだ議員が、どのように市議会で活動しているか、直接見る事ができる最も身近な方法です。市政をもっと知るために、傍聴してみませんか。



3月定例会議(3月9日)

傍聴されるときは、傍聴席入口の受付簿に氏名などを記入し、注意書きを一読いただき入場してください。詳しい開催日時や議案・一般質問の要旨等は決まり次第、市議会ホームページに掲載します。なお、議場内の発言に対し声を出したり、拍手、示威的行為などは禁止されています。





請願の処理経過と結果

平成二十七年中の議会で採択し市長に送付した請願二件について、その処理経過と結果の報告が今議会でありました。

加茂市立七谷小学校に特別支援学級の設置を求める請願

平成二十八年四月一日から七谷小学校に特別支援学級を設置する。

庭球場の整備(人工芝)を求める請願

人工芝に張り替えるためには多額の費用を要するため、市の財政状況を見極めながら慎重に検討していきたい。

議会人事

亀山重光議員の辞職により、欠員中の一部事務組合及び特別委員会の人事を三月定例会初日に行いました。

初めに本会議で、加茂市・田上町消防衛生組合の議会の議員選挙を指名推薦で行い、樋口博務議員を選出しました。

次いで、三条地域水道用水供給企業団の議会の議員選挙を指名推薦で行い、安武秀敏議員を選出しました。



特別支援学級が設置された七谷小学校

について、及び今後の委員会の進め方についてを協議しました。

議会改革特別委員会

昨年十一月三十日に議会改革特別委員会は、四点の改革項目について、議長に実施の要請を行いました。これを受け、議長は議会運営委員会に実施の可否等を諮問しました。その後、議会運営委員会において慎重に検討後、一月二十二日にその結果を議長へ答申しました。

二月二十三日に特別委員会を開催し、議長の報告を受けた後、四点の改革項目について協議を重ねた結果、その実施について、議長から三月定例会会期中に全議員へ説明することになりました。(三月十日連合審査会終了後、説明会開催)

四点の改革項目

- 一、八月の議員間討論会開催
- 二、議長交際費の公開
- 三、政務活動費の公開
- 四、議案の賛否公開(今回第一九二号議会日より実施。七ページ参照)

さらに、四月二十二日に特別委員会を開催し、追加改革事項の集約表をもとに内容の協議と確認を行いました。

連合審査会

各委員会に付託された議案の総括質疑を行うための連合審査会を三月十日に開催しました。最初に平成二十八年当初予算の概要について説明を受け、その後、各議案について、総括質疑を行いました。



総括質疑を行う連合審査会(3月10日)

議会日誌

た後、事務に関する説明書の質疑を行いました。

(2月)

- 5日 県議定会定期総会(柏崎)
- 10日 社会厚生常任委員会行政視察(見附)

- ・地域子育て支援センター事業、中越福祉事務組合まごころ学園・まごころ寮
- 16日 各派交渉会
- 17日 市議会議員共済会代議員会(東京)
- 23日 議会改革特別委員会(3月)
- 1日 議会運営委員会
- 8、23日 定例市議会(4月)
- 22日 月例全員協議会
- 25日 議会改革特別委員会
- 27、28日 北信越議長会定期総会(松本)

記事の訂正

第一八九号、八ページの5月臨時会議決状況一覧表中、議員提出議案とありましたが、正しくは市長提出議案でしたので、訂正して、お詫び申し上げます。

全員協議会

四月二十二日に月例全員協議会を開催し、新加茂病院建設についての今後のスケジュールについて説明を受け、質疑を行った。

医療問題特別委員会

四月二十五日に特別委員会を開催し、県立加茂病院改築事業

特別委員会の動き

また、本会議休憩中に医療問題特別委員会及び議会改革特別委員会を開催し、医療問題特別委員会副委員長に、安武秀敏議員を、議会改革特別委員会委員長に大平一貴議員、副委員長に白川克広議員を選任しました。

次の定例会は

6月21日(火)から開催の

予定です。